

## 令和7年度倫理委員会審査結果一覧

(本審査：0件、書面審査 11件)

承認日	開催区分	受付番号	所属	課題名	申請概要	審査結果
1 R7.4.17	書面審査	R7-1	病理診断科	Thanatosomes(硝子小体)を認めたアポクリン乳癌の1例報告	Thanatosomes(硝子小体)を認めたアポクリン乳癌の1例を学会・学術誌で報告する	承認
2 R7.6.12	書面審査	R7-2	北4病棟	糖尿病性足病変の予防と重症化防止に向けた集学的フットケアプログラムの実装研究	糖尿病患者の糖尿病性足病変の予防と重症化防止に向けた介入として、糖尿病診療にあたる地域基幹病院、診療所と共同し、AAA(Act Against Amputation)スコアシート*を用いた足の観察、看護師のフットケア教育、フットケアの地域連携システムを構築、実施をする集学的フットケアプログラムの実装研究	承認
3 R7.7.31	書面審査	R7-3	外科	市中病院におけるロボット支援下直腸癌手術の導入期治療成績	当院においてロボット支援下直腸癌手術を受けた患者症例のカルテ情報を後方視的に調査し、短期治療成績を腹腔鏡手術と比較検証。患者背景(年齢、性別、BMI、ASA-PSなど)、治療成績(手術時間、出血、合併症、術後在院日数など)に関して比較検討し、治療成績を明らかにする。	承認
4 R7.11.18	書面審査	R7-4	病理診断科	甲状腺乳頭癌類似の核所見を認めた甲状腺様腎濾胞癌(TLFCK)の1例報告	研究は2006年にはじめて報告されて以来、英文報告が60例程度の稀な疾患概念で、新たに得られた特殊な知見について報告する症例報告であり、甲状腺乳頭癌類似の核所見を認めた甲状腺様腎濾胞癌(Thyroid-like follicular carcinoma of the kidney; TLFCK)の症例は初めての報告である。 ホルマリン固定後・パラフィン包埋セルブロック組織をサンプルとして使用する。病変部組織採取に関しては既に採取済みの組織を用いるため、患者に対する追加の侵襲は生じず診療目的外の患者への侵襲は生じない。	承認
5 R7.11.18	書面審査	R7-5	外科	多形腺腫由来の非浸潤性乳癌の1例報告	本研究は英文報告が数例程度の稀な疾患で、新たに得られた特殊な知見について報告する症例報告です。 診療のために収集された臨床検査画像や切除された病理組織標本を利用します。患者に対する追加の侵襲は生じず診療目的外の患者への侵襲は生じません。	承認
6 R7.12.4	書面審査	R7-6	病理診断科	特異な染色態度を示した副腎皮質オンコサイトーマの1例報告	本研究は1986年にはじめて報告されて以来、英文報告が120例程度の稀な疾患概念で、新たに得られた特殊な知見について報告する症例報告であり、他臓器(腎・唾液腺)のオンコサイトーマでは陽性となるBSND, ATP6V1G3が陰性となる症例は初めての報告で、このような検討を施行した報告は初である。ホルマリン固定後・パラフィン包埋セルブロック組織をサンプルとして使用する。病変部組織採取に関しては既に採取済みの組織を用いるため、患者に対する追加の侵襲は生じず診療目的外の患者への侵襲は生じない。	承認

## 令和7年度倫理委員会審査結果一覧

(本審査：0件、書面審査 11件)

承認日	開催区分	受付番号	所属	課題名	申請概要	審査結果
7 R8.12.23	書面審査	R7-7	泌尿器科	当院における転移性尿路上皮癌に対する逐次薬物治療の費用対効果	転移性尿路上皮癌に対する新たな薬物療法は長期的な生存を可能にしましたが、治療費の急激な増加が課題となっています。本研究では、転移性尿路上皮癌に対する抗がん剤の費用対効果を評価しました。	承認
8 R8.1.21	書面審査	R7-8	病理診断科	粘液産生神経内分泌乳管内癌の1例の報告	本研究は神経内分泌分化を示す乳管内癌(NE-DCIS)のうち、粘液産生像が明瞭な稀な症例の報告であり、本症例に認められたmucinous basket-like pattern を呈する例はこれまでに報告例は無い。既に作成した細胞診標本とホルマリン固定後・パラフィン包埋ブロック組織をサンプルとして使用する。病変部組織採取に関しては既に採取済みの組織を用いるため、患者に対する追加の侵襲は生じず、診療目的外の患者への侵襲は生じない。	承認
9 R8.1.28	書面審査	R7-9	看護部 救急外来	Midlineカテーテルの安全な管理と臨床実践に関する知見の整理 –看護実践に基づく教育的書籍の作成–	これまでの臨床業務の中で得た知見や経験、一般的に共有が可能な看護実践内容を教育啓発を目的とした書籍を出版するものである。血管の走行やカテーテルの位置などの理解のため超音波画像や日常での管理方法を一部掲載。	承認
10 R8.1.28	書面審査	R7-10	看護部 救急外来	グラゾセンタン投与におけるMidlineカテーテルの有用性	くも膜下出血後の脳血管攣縮予防としてグラゾセンタン投与を行った患者を対象に、Midlineカテーテルによる静脈路確保の有用性と安全性を後方視的に検討するもの。	承認
11 R8.1.28	書面審査	R7-11	病理診断科	潰瘍性大腸炎に合併したSuperficially serrated adenoma の1例報告	確定診断のため、遺伝子検索を行う。遺伝子検索は、positive controlとして、SuSAの典型例(1例)においても同様に行う。ホルマリン固定後・パラフィン包埋ブロック組織をサンプルとして使用する。病変部組織採取に関しては既に採取済みの組織を用いるため、患者に対する追加の侵襲は生じず診療目的外の患者への侵襲は生じない。	承認